

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	看護介入を要する肺高血圧症患者抽出に向けた emPHasis-10 の活用 [倫理審査受付番号：第 5200 号]
研究責任者氏名	藤井 利江
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 11 月 26 日 ～ 2028 年 10 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：肺高血圧症 / 診療科名等：循環器内科
	受診日：2021 年 12 月 1 日 ～ 2025 年 11 月 26 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☒ その他（emPHasis-10<自記式質問紙>のデータ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	肺高血圧症は、心臓や肺に負担がかかりやすく、だんだん症状が進んでいく病気です。病気の重さをはかる方法として「WHO 機能分類（WHO-FC）」というものがあり、どれくらい動けるかを基準にしています。しかし、これは患者さん自身の「生活のしんどさ」や「気持ちのつらさ」を十分に表すものではありません。そこで、emPHasis-10（エンファシス 10）という生活のしんどさを 10 問で数字にした質問票を使います。これは世界的に信頼されている「患者さん自身の生活の質（QOL）」を数字で表す方法です。日本語版もきちんと検証されています。 今回の研究では、循環器内科外来に通院していた肺高血圧症患者さんに、過去にご協力いただいた emPHasis-10（自記式質問紙）のデータを用いて WHO-FC との関係を調べます。さらに、「どの点数から生活の質が下がってきたと考えられるか」という目安（カットオフ値）を探します。この結果をもとに、「どの患者さんに看護や支援を優先して行うべきか」「医師や看護師、リハビリ、薬剤師、相談員などがどう協力すべきか」を見える化することができます。

	この研究の目的は、患者さんがつらさを抱え込む前に、医療者が早めに気づき、必要な支援につなげることです。今後の生活を安心して続けられるよう、多職種で協力していくきっかけづくりにもつながります。
研究の方法	循環器内科外来でこれまでに収集された emPHasis-10（自記式質問紙データ）およびカルテ情報（性別、年齢、罹病期間、WHO-FC、肺高血圧症分類、治療法）を用いて解析を行います。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：看護部（外来） 担当者氏名：藤井 利江 [電話] （平日 8:30～16:30）0798－45－6255（看護外来受付）